

をしつかりと受け止めながら時は他の棟梁の下で、仕事につき奮闘している頼もしい青年です。

近年は、お父さんと共に古民家に携わることが多く、いろいろなことが勉強できるので毎日が楽しいと言つていました。

これからがますます大変だとは思いますが、棟梁と呼ばれるようになることを楽しみに、隆弘君の成長を見守りたいと思います。

思いますが、棟梁と呼ばれるようになることを楽しみに、隆弘君の成長を見守りたいと思います。

文・福田工務店 福田 敏幸

### 京都府 片山 匠太郎さん

大工は幼いころから僕にとって、身近な職業・一番の憧れでした。工業高校～専門学校の道を歩み、現在は同じ専門学校を卒業された大工社長が経営される工務店で八年目を迎えます。ごくごく自然の流れで今、修行に打ち込めるのは、幸いにも父が大工職人の家系の長男に生まれたからだと天職に感じ、感謝も出来るようになります。

当たり前のように大工になつた

僕ですが、当初この業界で驚いたのは木造が解らない大工さんもたくさんいること。たとえば「木を見る」「墨をつけ刻む」「道具をつくる」目標すまえから当たり前だ

と思つていた一人前の条件を満たさない……そんな仕事が求められない時代だとも理解はできますが、それは逃げにも思います。



片山 匠太郎 (かたやま しょうたろう)  
28歳

つくる」「手間を惜しまない」「感性で造る」。

これからも目標の大工は、お施主さんの笑顔をいつまでも見られる大工棟梁です。

文・有限会社comfort life 片山 匠太郎

### 滋賀県 伊吹 貴裕さん

棟梁にとつて、弟子はわが子同然。信頼関係を作りながら、時間をかけて育てることが大事です。

伊吹君は大学卒業後、大阪の設計事務所に長年勤務しましたが、設計より現場で汗をかきたいと思

い、滋賀県立高等技術専門学校(テクノカレッジ)木造建築科に入学。卒業後、有限会社大森大工に見習いとして入社しました。現在、入

社二年目。兄弟弟子達と日々頑張っています。まだまだ何もできませんが、積み重ねた苦労、現場でかけられた汗の分だけ、体が自然に動くようになっていきます。一人前の棟梁になつてくれるこどを願い、成長を見守っています。

文・有限会社大森大工 大森 敏昭



伊吹 貴裕 (いぶき たかひろ) 33歳



毎月、新しい職人さんを紹介していきます！  
お楽しみに。